

【看護学科】各実習科目別実習の目的及び実習場所

実習科目	目的	実習場所
基礎看護学実習Ⅰ (生活環境・対象の理解・生活の援助)	入院患者及び入院患者を取り巻く療養環境を理解し、基礎看護技術を実践する基礎的能力を養う。	岡山医療センター 金川病院 南岡山医療センター
基礎看護学実習Ⅱ (看護過程と臨床判断)	対象を総合的に理解し、看護過程の展開と臨床判断ができる基礎的能力を養う。	岡山医療センター 金川病院 南岡山医療センター 福山医療センター
成人看護学実習Ⅰ (急性期回復期の看護)	成人の急性期から回復期にある対象の特徴を理解し、生命の維持・健康の回復へ向けた援助ができる基礎的能力を養う。	岡山医療センター
成人看護学実習Ⅱ (障害とともに生きる人を支える看護)	重症心身障害児者施設に長期入所している重症心身障害児者と家族を理解し、看護が実践できる基礎的能力を養う。	南岡山医療センター
成人・老年看護学実習Ⅰ (慢性期の看護)	長期にわたる健康障害をもつ対象を総合的に理解し、疾病との共存を図り、対象のQOLを高めるための看護が実践できる基礎的能力を養う。	南岡山医療センター
成人・老年看護学実習Ⅱ (終末期の看護)	成人の終末期にある対象及び家族の特徴を理解し、最期のときまでその人らしく生きるための援助ができる基礎的能力を養う。	岡山医療センター
老年看護学実習	老年期にある対象の特徴をふまえ、健康障害がもたらす影響を理解し、対象に必要な看護を実践する基礎的能力を養う。	岡山医療センター 金川病院
小児看護学実習	小児期にある対象を理解し、成長発達段階にある、あらゆる健康状態の対象に応じた看護ができる基礎的能力を養う。	岡山医療センター 福山医療センター くるみ保育園
母性看護学実習	周産期にある妊婦・産婦・褥婦・新生児及びその家族への看護ができる基礎的能力を養うとともに、生命観、両性の役割についての考えを深めることができる。	岡山医療センター 福山医療センター
精神看護学実習	精神障害を持つ対象及びその家族の特徴と精神症状に伴う諸問題を総合的に理解し、回復・自立に向けた援助が実践できる基礎的能力を養う。	慈圭病院
地域・在宅看護論実習Ⅰ (地域で暮らす人々への支援)	あらゆる健康レベルの人々の生活の実際や、生活を支える地域の取り組みを理解する。	地域包括支援センター 社会福祉協議会 公民館 居宅介護支援事業所
地域・在宅看護論実習Ⅱ (在宅療養を支える看護)	在宅療養を支援する社会資源の実際、地域で療養する対象及び家族を理解し、看護が実践できる基礎的能力を養う。	訪問看護ステーション 介護老人保健施設 介護老人福祉施設
統合実習	保健医療チームの一員として、実務に即した看護実践に主体的に取り組み、看護実践能力を育成する。	岡山医療センター